

シラバス(授業概要)			年度		2026年度	
			科目コード		2	
時間数は50分換算						
授業科目名		授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動Ⅱ		講義・演習		美容・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	鈴木 由美 森脇 勘成 吉澤 優人 岡村 迪子 山本 和樹 森川 真琴	
授業の目的・目標						
様々な場面で柔軟に対応し、協調性ある行動ができるようになる。自身の学校生活を見直し、身の回りの清掃整理を行い、成長のステップに繋げる。						
授業の概要						
イベント行事やグループ活動を通しコミュニケーションの重要性を理解する。日々の学業の振り返りを行い、生活環境を整える。						
成績評価の方法						
1. 平常点 (主体的な授業参加度) 2. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢)					平常点	80%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
タブレット端末、筆記用具類						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	オリエンテーション		4			
2.	〃		4			
3.	〃		4			
4.	〃		4			
5.	学校行事		4			
6.	芸術鑑賞		4			
7.	〃		4			
8.	健康診断		4			
9.	レクリエーション		4			
10.	〃		4			
11.	〃		4			
12.	〃		4			
13.	学科活動		4			
14.	〃		4			
15.	〃		4			60
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度		2026年度	
			科目コード		4	
時間数は50分換算						
授業科目名		授業形態	学科・コース			
ITリテラシーⅡ		講義・演習	美容・ヘアメイク科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	30	1	鈴木 由美 森脇 勘成 吉澤 優人 岡村 迪子 山本 和樹 森川 真琴	
授業の目的・目標						
デジタルに強い学生を育てることで、現代の現場から求められるデジタルスキルやマインドを磨く。リテラシーを高め、トラブルを未然に防げるような基礎を身につける。						
授業の概要						
SNSの活用方法、AIの活用方法など、幅広いデジタル活用方法を題材に学ぶ。						
成績評価の方法						
1. 課題（提出させた課題の完成度と提出率）				課題	40%	
2. 平常点（主体的な授業参加度）				平常点	30%	
3. 学習意欲（授業意欲の有無、授業に取り組む姿勢）				学習意欲	30%	
使用テキスト・教材						
個人用PC、筆記用具類						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	オリエンテーション、インストール状況確認		2			
2.	ITリテラシー①		2			
3.	ITリテラシー②		2			
4.	ITリテラシー③		2			
5.	ITリテラシー④		2			
6.	SNS活用		2			
7.	〃		2			
8.	〃		2			
9.	AI活用		2			
10.	〃		2			
11.	〃		2			
12.	デジタル活用（応用）		2			
13.	〃		2			
14.	〃		2			
15.	まとめ		2			30
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は50分換算		科目コード
					5
授業科目名			授業形態		学科・コース
関係法規・制度			講義・演習		美容科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	佐々木 史
授業の目的・目標					
美容業に従事するために必要な、美容師法並びに衛生関連法等美容業に関連する各法律等の正しい知識を身につけて、美容師試験の合格を目指す。					
授業の概要					
1. 日本における憲法を頂点とする法令体系と美容師法や衛生関連法の位置づけの把握 2. 日本の衛生行政について 3. 美容師法について 4. その他関連法について 5. 試験対策					
成績評価の方法					
1. 学習意欲・授業態度 2. 授業内での小テスト 3. 期末試験				意欲・態度	40%
				小テスト	20%
				期末試験	40%
使用テキスト・教材					
「関係法規・制度」日本理容美容教育センター その他のオリジナル教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. シラバス解説・日本の法制度の概要			2	テキストP7～20	
2. 衛生行政の概要			2	テキストP21～36	
3. 美容師法①目的と用語の定義			2	テキストP37～48	
4. 美容師法②美容師に関する規定			2	テキストP49～56	
5. 美容師法③美容師に関する規定			2	テキストP57～73	
6. 美容師法④美容師に関する規定			2	テキストP74～91	
7. 美容師法⑤美容所に関する規定			2	テキストP92～103	
8. 美容師法⑥美容所に関する規定			2	テキストP104～P111	
9. 美容師法⑦立入検査と行政処分・罰則			2	テキストP112～128	
10. 関連法規①			2	テキストP129～138	
11. 関連法規②			2	テキストP139～146	
12. まとめ			2	テキストP147～P157	
13. 演習			2	模擬問題の解答	
14. 演習			2	模擬問題の解答	
15. 演習			2	模擬問題の解答	
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※法学士称号を持つ教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度	
時間数は50分換算				科目コード	7	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
衛生管理Ⅱ			講義・演習		美容・ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	30	1	鈴木 宏 森川 真琴	
授業の目的・目標						
美容師法に基づく内容の把握する。衛生管理の重要性・必要性を身に付ける。美容師国家試験に合格するための必要な知識を取得する。卒業後も直結する内容も多いため理解度を上げる。						
授業の概要						
人の容姿を演出するための美容の仕事を通じて、人々の精神的健康に貢献できるよう人体の構造に関する本知識を身につけることができる。「衛生管理3」では、身体の健康を脅かす感染症とその予防法及び消毒法の概要等に関する知識を身に付け、自らの生活にも適用できる。						
成績評価の方法						
・定期試験（前期・後期試験）を実施し授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。・評価目安 定期試験 ・授業態度・出席					定期試験	80%
					授業態度・出席	20%
使用テキスト・教材						
公益社団法人日本理容美容教育センター発行 名：衛生管理及びワークブック						書
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 感染症の総論			2			
2. 病原微生物			2			
3. 感染症の予防①			2			
4. 感染症の予防②			2			
5. 感染症のまとめ			2			
6. 感染症の各論			2			
7. 主な感染症1・主な感染症2			2			
8. 具体的な対策の例			2			
9. 感染症のまとめ			2			
10. 衛生管理技術、消毒法総論、消毒の意義			2			
11. 美容の業務の消毒・適用上の注意			2			
12. 消毒法各論・物理的消毒法			2			
13. 消毒法各論・化学的消毒法			2			
14. 消毒の実習			2			
15. まとめ			2			30
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。			美容保健			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年 度	
				2026年度	
				科目コード	
				9	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
美容保健Ⅱ			講義・演習		美容・ヘアメイク科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	高田 亜紀子 森川 真琴
授業の目的・目標					
皮膚・毛髪・人体の構造、機能に関する科学的また知識を美容技術と関連させながら学ぶ。 なぜ美容で人体の構造及び機能を関連させながら学ぶ必要があるのか考察する。 また、皮膚化学を知ることにより、美容がどのように人体に影響するのかを学ぶ。					
授業の概要					
安全で効果的な美容技術を提供するための基礎となるものを築く。 特に皮膚や毛髪などに関する保健衛生においては、衛生管理と関連させながら体系的に知識の習得を行う。					
成績評価の方法					
定期試験（前期・後期試験）を実施し授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。				定期試験	80%
				授業態度・出席	20%
使用テキスト・教材					
公益社団法人日本理容美容教育センター発行 名：保健及びワークブック					書
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 第1章 皮膚の表面、断面、表皮と真皮の堺			2		
2. 真皮、皮下組織、皮膚の部位差			2		
3. 第2章 毛、脂腺(皮脂腺)汗腺、爪			2		
4. 第3章皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経			2		
5. 対外保護作用、体温調節作用			2		
6. 知覚作用と皮膚反射、分泌排出作用			2		
7. 呼吸作用			2		
8. 吸収作用、貯蔵作用、免疫、解毒			2		
9. 排除作用、再生作用、毛・爪の働き			2		
10. 皮膚と全身状態、皮膚と精神、栄養			2		
11. 皮膚とし好品、皮膚の体内病変			2		
12. 皮膚の水分と脂の状態			2		
13. 皮膚・付属器官とホルモン			2		
14. 皮膚の水分と脂の状態			2		
15. 毛の保護と手入れ、爪の保護と手入れ			2	30	
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			衛生管理		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		
				2026年度		
				科目コード		
				12		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス	
美容文化論Ⅱ			講義・演習		美容・ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	30	1	安富 万里子	
授業の目的・目標						
美容文化やファッションに関する知識や歴史を身に付け、幅広いデザイン提案ができる美容師を目指す。現在は過去の上に成り立っていることを理解し、またファッションや時事の出来事との繋がりを意識することがこれからの歴史を創っていく原動力となる。						
授業の概要						
西洋ファッション文化史・礼装についてテキストを中心に進めていく。各単元の最後に確認のための小テストを実施することで確実に知識を得る。						
成績評価の方法						
学期末試験（9月・2月に実施） 学習意欲（出席率・小テスト・授業に取り組む姿勢や意欲）				学期末試験	60%	
				学習意欲	40%	
使用テキスト・教材						
参考資料の配布 文化論及（公益社団法人日本理容美容教育センター発行）						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1.	第4章-第1節	古代エジプト	1	16.	～第14節 現代（1960）	1
2.	～第2節	古代ギリシア	1	17.	第15節 現代（1980）	1
3.	第3節	古代ゲルマン	1	18.	～第16節 現代（～2010）	1
4.	～第4節	中世ヨーロッパ	1	19.	第5章-第1節 和装の礼装	1
5.	第5節	近世（16世紀）	1	20.	〃	1
6.	～第6節	近世（17世紀）	1	21.	第2節 洋装の礼装	1
7.	第7節	近世（18世紀）	1	22.	〃	1
8.	～第8節	近世（18末～19始）	1	23.	第2章の復習	1
9.	第9節	近世（19世紀）	1	24.	〃	1
10.	〃		1	25.	第3章の復習	1
11.	第10節	現代（1910～20）	1	26.	〃	1
12.	～第11節	現代（1930～40前）	1	27.	模擬問題	1
13.	第12節	現代（1940後～50）	1	28.	模擬問題・解答/解説	1
14.	～第13節	現代（1960）	1	29.	模擬問題	1
15.	〃		1	30.	模擬問題・解答/解説	1
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度		
				2026年度		
				科目コード		
				13		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
美容運営管理			講義・演習		美容科 ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	30	1	鈴木 由美 森川 真琴	
授業の目的・目標						
経営やマネジメントの実践に基づく知識の習得により、「経営者」と「従業員」の両者の立場から顧客満足の達成に導く。また、業界の現状を幅広く理解し美容師としてのキャリアプランを持たせる。						
授業の概要						
「経営者」「従業員」「顧客」=もの・人・金のバランスや視点の重きをおく。 サロンワークの実践に重点やポイントをおく。 事案研究発表とグループワークによるリサーチ						
授業態度（授業内での発言や受講態度）					平常点 100%	
使用テキスト・教材						
運営管理教科書・筆記用具・メモ・タブレット・都度、担当教員に確認をすること						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 導入。オリエンテーション			1			
2. 運営管理の全体像と習得の視点			1			
3. 第1編 経営者の視点、経営・経営者とは			2	CPサロンからの意見の反映（対策案提示）		2
4. 第1編 理容・美容業の経営			2			
5. 第1編 資金管理			2			
6. 第1編 セクションまとめ・小テスト			2			
7. 第2編 人という資源			2			
8. 第2編 従業員としての視点 社会人としての責任			2			
9. 第2編 従業員としての責任 社会保険 (公的年金・医療保険・労働保険)			2			
10. 第2編 キャリアプランの重要性			2			
11. 第2編 健康・安全な職場環境の実現			2			
12. 第3編 顧客の為に(サービス・デザイン)			2			
13. 第3編 サービス・マーケティング			2			
14. 第3編 サービスにおける人の役割			2			
15. 第3編 接客の実践 接客における様々な問題			2			
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験があり、 資格保持教員が担当する科目である。				関係法規制度		

シラバス(授業概要)				年度	2026年度	
時間数は100分換算				科目コード	15	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
美容技術理論Ⅱ		講義・演習		美容科 ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	鈴木 由美 吉澤 優人 岡村 迪子 森脇 勘成 森川 真琴	
授業の目的・目標						
実技力の基礎となる正確な理論知識の習得を目的とし、応用力に伴う基礎力の発揮を目標にする。 また、国家試験筆記対策を含め、文章からなる習得力の向上に向け取り組みさせる。 国試出題数の満点を目指す。						
授業の概要						
国家試験実技課題の理論的理解。 サロンワーク実践に必要な技術の理論的知識の習得。 セクション毎のテスト実施。早期習得に努める。						
成績評価の方法						
小テスト実施 定期テスト				平常点	100%	
使用テキスト・教材						
美容技術理論テキスト(1・2) 国試実技の解説						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 授業・試験オリエンテーション			1			
2. 第1章 復習まとめ			1			
3. 第2章			2			
4. 第3章			2			
5. 第4章			2			
6. 第5章			2			
7. 第6章			2			
8. 第7章			2			
9. 第8章 手技以外の知識習得			2			
10. 第9章 ネイル概論からハンド・フットの知識習得			2			
11. 第10章 メイクアップ基礎理論と化粧品知識の習得			2			
12. 国試対策 ワークブック対応			2			
13. 国試対策 ワークブック対応			2			
14. 国試対策 ワークブック対応			2			
15. 国試対策 過去問対応			2			
16. 国試対策 過去問対応			2			
その他			関連科目			
※単元ごと復習課題を実施する。 ※実務経験があり、資格所持教員が担当する科目である。			美容実習・まつ毛エクステンション・化粧品化学			

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
				17	
授業科目名			授業形態		学科・コース
美容実習 (国家試験対策)			講義・演習		美容科・ヘアメイク科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	480	16	鈴木 由美 吉澤 優人 岡村 迪子 森脇 勘成 森川 真琴
授業の目的・目標					
美容師の業として、顧客満足につながるスタイル作成知識の習得と、実践で対応力を養う。国家試験課題による時間意識と減点なしに努め、合格レベルの達成を目指す。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> 基本スタイル（オンベース、オフベース）を基に、薬剤使用に通用する技術を習得 コームを使用し梳かす（フィンガーウェーブ）を主に、頭の丸みの理解と共にウェーブ構成の中にピンカールを作成。国家試験7段構成をもとにバランスやピンカールの特徴によるヘアセッティング知識を習得する。 国試課題を基本的手技や知識の習得事例とし、ベーシックカットの実践を行う。 					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> 平常点 課題点 定期試験 				平常点	20%
				課題点	30%
				定期試験	50%
使用テキスト・教材					
美容技術理論・美容実習・国試技術の解説					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 国試課題 技術の条件導入			10		
2. ブロッキング5分・シザーズ手技・開閉練習			10		
3. 行程習得・姿勢と構え・長さの測り方			42		
4. 全行程確認			40		
5. 全行程18分・採点項目減点なし			80		
6. 国試シミュレーション			20		
7. AW:構成確認			20		
8. 全頭計測 50分			14		
9. 国試構成の理論的知識の確認（プレゼン）			12		
10. 全頭計測 国試タイム25分 減点なし			40		
11. 全頭計測 23分 減点なし			50		
12. 国試課題条件の確認			20		
13. 計測19分			60		
14. 計測18分			62		
15.					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある資格所持教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)		年度			
		2026年度			
		科目コード			
		19			
授業科目名		授業形態		学科・コース	
美容総合実習Ⅱ (アイラッシュ・メイク・カラー・シャンプー・着付け)		講義・演習		美容科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	90	3	徳差 あつこ 安本 高士朗 山咲 サトル 水野 奈徳美 岡村 迪子 森川 真琴
授業の目的・目標					
総合的な美容に関する、技術及び知識を学び、現場で必要とされる人材に向けての土台づくりを行う。					
授業の概要					
総合的な美容の技術、知識、特に他者に触れる時の気配りを技術を通して学び、職業人としての心得を身につける。					
成績評価の方法					
授業内での試験（各単元によって実施） 学習意欲（出席率・小テスト・授業に取り組む姿勢や意欲）				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
各実習に必要なとされる道具類・タブレット・講師指定の道具類					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	ヘアカラー（ブリーチ）	3	16.	サロンワーク実習	3
2.	〃	3	17.	〃	3
3.	ヘアカラー基礎（アイモデル実習）	3	18.	〃	3
4.	〃	3	19.	〃	3
5.	ヘアカラー基礎（プレゼンテーション）	3	20.	〃	3
6.	メイク基礎（検定対策）	3	21.	サロン特別授業（各企業）	3
7.	〃	3	22.	〃	3
8.	〃	3	23.	〃	3
9.	〃	3	24.	〃	3
10.	〃	3	25.	〃	3
11.	着付け基礎（留袖）	3	26.	〃	3
12.	〃	3	27.	〃	3
13.	着付け基礎（振袖）	3	28.	〃	3
14.	〃	3	29.	〃	3
15.	〃	3	30.	〃	3
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する					
※説明、展示、実習で進行する					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			科目コード		21
時間数は50分換算					
授業科目名		授業形態	学科・コース		
美容総合理論Ⅱ (キャリア・特別授業)		講義・演習	美容科・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	30	1	吉竹 てるみ 鈴木 由美 森川 真琴
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 顧客意識を高め、お客様に喜ばれる接客ができるようになる。 コミュニケーションスキルを高め、チームで仕事をすることの重要性を学ぶ。 就職活動に向けての心得と対策を学ぶ。 職業意識と業界意識を深める。業界で定着できるマインドを育む。 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> サービス業において必要となる顧客意識とは何か、また具体的な表現方法の習得を目指します。 お客様やスタッフ同士のコミュニケーションスキルの向上を目指します。 就職活動におけるポイントを伝え、『絶対就職』を目指します。 企業との交流を図ることで、学生から社会人になる準備をする。 					
成績評価の方法					
1. 筆記試験（小テスト、学期末試験等の実施）				筆記試験	50%
				課題・演習	30%
				平常点	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> A4クリアファイル（ポケットファイル30枚～40枚程度） ノート（ルーズリーフ） ・筆記用具 タブレット 					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	オリエンテーション(シラバスの説明、授業の進め方、成績評価について) 1年次の復習	2			
2.	就職活動①(就職活動への取り組みと心構え・自己PRのポイント)	2			
3.	就職活動②(面接時の立ち居振る舞い) <演習発表>	2			
4.	美容師・販売員としての心構えと接客対応	2			
5.	接客対応の流れをロールプレイングで学ぶ	2			
6.	接客ロールプレイング総復習と発表 <演習発表>	2			
7.	クレーム対応について（初期対応の重要性）	2			
8.	コミュニケーションとチームで仕事をすることの重要性	2			
9.	テスト前の復習と学期末試験の実施 <学期末試験>	2			
10.	学期末試験の解答と解説、授業総まとめ	2			
11.	業界理解と職業理解①	2			
12.	業界理解と職業理解②	2			
13.	業界理解と職業理解③	2			
14.	業界理解と職業理解④	2			
15.	業界理解と職業理解⑤	2			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度	
			時間数は50分換算		科目コード	
					24	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
卒業制作			講義・演習		美容・ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	30	1	鈴木 由美 吉澤 優人 岡村 迪子 森脇 勘成 山本 和樹 森川 真琴	
授業の目的・目標						
ヘアショーを通じてチームとして企画する力、表現する力を身につける。						
授業の概要						
ヘアショーの企画・制作・運営・発表を行う。						
成績評価の方法						
ショーの完成度・準備の参加度・出席率を評価の対象とする					平常点	100%
使用テキスト・教材						
ショーの内容により変動。各自準備する						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ヘアショー企画・制作			28			
2. 発表			2			
3.						
4.						
5.						
6.						
7.						
8.						
9.						
10.						
11.						
12.						
						30
その他			関連科目			